



2024年3月19日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
代表社名 代表取締役社長 兼 作道政昭
社長 執行役員

(コード番号：8198 東証スタンダード市場)

問合せ先 取締役 兼 執行役員 齋藤 論
経営管理本部長
(TEL. 053-421-7000)

当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役 兼 代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号：8267 東証プライム市場)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、昨今の業績動向を踏まえ、2023年4月12日に公表した2024年2月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

通期業績予想数値の修正

(1) 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(金額の単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	360,000	10,600	10,500	5,700	179円05銭
今回修正予想 (B)	366,000	13,400	13,500	8,300	260円63銭
増減額 (B-A)	6,000	2,800	3,000	2,600	
増減率 (%)	1.7	26.4	28.6	45.6	
(ご参考) 前期通期実績 (2023年2月期)	351,107	10,302	10,285	6,169	193円82銭

(2) 修正の理由

今期は、世界的な政情不安に急激な円安が加わり、エネルギー価格の高騰、食料品や生活関連商品の値上げが続き、お客さまの消費行動がよりシビアになる中で、当社ではデジタル販促の強化やプライベートブランドの訴求強化などによりお客さまの家計負担軽減に注力してきたことに加え、成長カテゴリーであるデリカ商品の拡充や、冷凍食品の品揃え拡大など、お客さまの多様な嗜好にお応えする商品・サービスの提供に向けた取組みを強化してまいりました。これらにより、既存店売上が伸長したことに加え、売上総利益率も改善いたしました。経費面では、セルフレジ導入や働き方改革・業務効率化を進めるとともに、冷凍ケースの入替による電気使用量の削減により電気代が大幅に削減できたことなどにより、営業利益・経常利益が当初予想を上回りました。また、既存店営業利益が改善したことにより、減損損失が削減できたことで、当期純利益についても当初予想数値を上回る結果となりました。

以上